

原料費調整制度に基づく

平成29年4月のガス料金について

平成29年3月3日

上越市ガス水道局

上越市ガス水道局は、「原料費調整制度」に基づいて平成29年4月検針分に適用される調整単位料金を、別紙のとおりとさせていただきます。

今回のガス料金の調整は平成28年11月～平成29年1月のLNG平均価格及びLPG平均価格（貿易統計値）により算定された平均原料価格に基づくものです。

なお、4月1日より、原料ガスの購入価格の値下げに伴い基準単位料金を改めました。

また、平成28年4月検針分に適用する料金につきましては、広報上越3月15日号での記事掲載、ガス水道局本局及び営業所の窓口での掲示、検針時に各戸にお届けする「ガス水道使用量のお知らせ（検針票）」等でお知らせいたします。

以上

<お問い合わせ先>

上越市ガス水道局

営業保安課 営業開発係

TEL 025-522-5514

<別紙>

料金表（平成29年4月）

① 3月検針日の翌日から3月31日までの期間の算定

- 供給約款料金（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）

平成29年3月に適用する調整単位料金と比較した場合1m³あたり0.73円（税込）の引上げとなります。

なお、基準単位料金に対しては11.83円（税込）下方調整して料金を算定します。

また、基本料金は変わりません。

区分	料金表A	料金表B	料金表C
月間使用量	0～24m ³	25～240m ³	241m ³ ～
基本料金 （円／月）	367.20	410.40	626.40
調整単位料金 4月 （円／m ³ ）	116.22	114.42	113.52
調整単位料金 （参考）3月 （円／m ³ ）	115.49	113.69	112.79

【ガス料金の計算式】

1か月のガス料金 = 基本料金 + ガス使用量 × 基準単位料金（原料費調整制度に基づく
単位料金の調整を行う場合は、その調整単位料金）

（上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

標準家庭における影響

1か月の ご使用量	平成29年4月 適用料金	平成29年3月 適用料金	増減額	増減率
39m ³	4,872円／月	4,844円／月	28円／月	0.57%

※ 当市におけるご家庭1件、一ヵ月あたり平均使用量39m³（45.0メガジュール／m³）に基づいて算出しています。

平均原料価格と調整単位料金の算定について

	平成28年11月～平成29年1月 (4月検針分に適用)	平成28年10月～平成28年12月 (3月検針分に適用)
平均原料価格※1	15,960円/ト	15,090円/ト

基準平均原料価格※2	30,640円/ト
------------	-----------

※1 平均原料価格＝LNG平均価格×0.3462＋LPG平均価格×0.0256

※2 基準平均原料価格は、料金改定時に設定（平成25年6月から8月までのLNG平均価格82,410円×0.3462＋平成25年6月から8月までのLPG平均価格82,230円×0.0256）

◆ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格} &= \text{LNG平均価格（平成28年11月～平成29年1月貿易統計値）} \times 0.3462 \\ &= 42,650\text{円/ト} \times 0.3462 \\ &= 14,765.430\text{円/ト} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{LPG平均原料価格} &= \text{LPG平均価格（平成28年11月～平成29年1月貿易統計値）} \times 0.0256 \\ &= 46,490\text{円/ト} \times 0.0256 \\ &= 1,190.144\text{円/ト} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均原料価格} + \text{LPG平均原料価格} \\ &= 14,765.430\text{円/ト} + 1,190.144\text{円/ト} \\ &= 15,955.574\text{円/ト} \\ &\quad \downarrow \text{（10円未満四捨五入）} \\ &= 15,960\text{円/ト} \end{aligned}$$

◆ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{基準平均原料価格} - \text{平均原料価格} \\ &= 30,640\text{円/ト} - 15,960\text{円/ト} \\ &= 14,680\text{円/ト} \\ &\quad \downarrow \text{（100円未満切捨て）} \\ &= 14,600\text{円/ト} \end{aligned}$$

◆ 調整単位料金（1m³あたり）の算定（一般契約B区分の場合）

$$\begin{aligned} \text{調整単位料金} &= \text{基準単位料金} - 0.075\text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times 1.08 \\ &= 126.25\text{円} - 0.075\text{円} \times 14,600\text{円} / 100\text{円} \times 1.08 \\ &= 126.25\text{円} - 11.82600\text{円} \\ &= 114.42400\text{円} \\ &\quad \downarrow \text{（小数点第3位以下切捨て）} \\ &= 114.42\text{円} \end{aligned}$$

※ 原料価格変動額100円につき基準単位料金単価を1m³あたり0.08100円（0.075円に1.08を乗じた値）調整します。

上記計算の結果、基準単位料金単価に対し、1m³あたり**11.83円（税込）**下方調整します。

<別紙>

料金表（平成29年4月）

② 4月1日以降4月検針日までの期間の算定

- 供給約款料金（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）
基準単位料金に対しては6.95円（税込）上方調整して料金を算定します。
また、基本料金は変わりません。

区分	料金表A	料金表B	料金表C
月間使用量	0～25m ³	26～250m ³	251m ³ ～
基本料金 (円/月)	367.20	410.40	626.40
調整単位料金 4月 (円/m ³)	114.53	112.80	111.93

【ガス料金の計算式】

1か月のガス料金 = 基本料金 + ガス使用量 × 基準単位料金(原料費調整制度に基づく
単位料金の調整を行う場合は、その調整単位料金)
(上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます)

標準家庭における影響

1か月の ご使用量	平成29年4月 適用料金	平成29年3月 適用料金	増減額	増減率
39m ³	4,809円/月	4,844円/月	▲35円/月	▲0.72%

※ 当市におけるご家庭1件、一ヵ月あたり平均使用量39m³（45.0メガジュール/m³）に基づいて算出しています。

平均原料価格と調整単位料金の算定について

	平成28年11月～平成29年1月 (4月検針分に適用)	平成28年10月～平成28年12月 (3月検針分に適用)
平均原料価格※1	43,880円/ト	15,090円/ト

基準平均原料価格※2	35,090円/ト
------------	-----------

※1 平均原料価格＝LNG平均価格×0.9771＋LPG平均価格×0.0474

※2 基準平均原料価格は、料金改定時に設定（平成28年6月から8月までのLNG平均価格34,120円×0.9771＋平成28年6月から8月までのLPG平均価格36,970円×0.0474）

◆ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格} &= \text{LNG平均価格（平成28年11月～平成29年1月貿易統計値）} \times 0.9771 \\ &= 42,650\text{円/ト} \times 0.9771 \\ &= 41,673.315\text{円/ト} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{LPG平均原料価格} &= \text{LPG平均価格（平成28年11月～平成29年1月貿易統計値）} \times 0.0474 \\ &= 46,490\text{円/ト} \times 0.0474 \\ &= 2,203.626\text{円/ト} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均原料価格} + \text{LPG平均原料価格} \\ &= 41,673.315\text{円/ト} + 2,203.626\text{円/ト} \\ &= 43,876.941\text{円/ト} \\ &\quad \downarrow \text{（10円未満四捨五入）} \\ &= 43,880\text{円/ト} \end{aligned}$$

◆ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= 43,880\text{円/ト} - 35,090\text{円/ト} \\ &= 8,790\text{円/ト} \\ &\quad \downarrow \text{（100円未満切捨て）} \\ &= 8,700\text{円/ト} \end{aligned}$$

◆ 調整単位料金（1m³あたり）の算定（一般契約B区分の場合）

$$\begin{aligned} \text{調整単位料金} &= \text{基準単位料金} + 0.074\text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100\text{円} \times 1.08 \\ &= 105.85\text{円} + 0.074\text{円} \times 8,700\text{円} / 100\text{円} \times 1.08 \\ &= 105.85\text{円} + 6.95304\text{円} \\ &= 112.80304\text{円} \\ &\quad \downarrow \text{（小数点第3位以下切捨て）} \\ &= 112.80\text{円} \end{aligned}$$

※ 原料価格変動額100円につき基準単位料金単価を1m³あたり0.07992円（0.074円に1.08を乗じた値）調整します。

上記計算の結果、基準単位料金単価に対し、1m³あたり**6.95円（税込）**上方調整します。